

## 予習課題

1. アメリカ合衆国が第二次世界大戦に参戦する (真珠湾攻撃を受ける) 前の 1941 年 8 月 14 日に、[大西洋憲章\(The Atlantic Charter\)](#)が採択されている。そして、真珠湾攻撃後の 1942 年 1 月 1 日に、[連合宣言\(Declaration by the United Nations\)](#)が採択される。これらに示されている国際秩序構想は、国際連盟や大東亜共栄圏構想と比較した場合、どのような特徴があるか。
2. 1943 年の[モスクワ宣言\(Joint Four-Nation Declaration, Moscow Conference\)](#)の 4 項に、“a general international organization”という表現が見られる。この general とはどういう意味か。また、なぜこの形容詞が付されたのか。
3. 国際連合の安全保障構想を国際連盟のそれと比較した場合、どこがどのように異なるか。
  - A) [連盟規約](#) 10 条 (および[不戦条約](#) 1 条) と[国連憲章](#) 2 条 4 項
  - B) 連盟規約 12 条・13 条と国連憲章第 6 章 (33 条以下)
  - C) 連盟規約 15 条・16 条と国連憲章第 7 章 (39 条以下)
  - D) 国連憲章 27 条 3 項に対応する規定は連盟規約にあるか?
  - E) 国連憲章 1 条 1 項に対応する規定は連盟規約 (あるいは不戦条約) にあるか?

以上

## 参考文献

- 紀平英作『パクス・アメリカーナへの道』(山川出版社、1996 年)
- 加藤俊作『国際連合成立史』(有信堂、2000 年)
- Ruth B. Russell, *A History of the United Nations Charter*, Washington, D.C., Brookings Institution, 1958.
- 高坂正堯「国際連合の成立」田岡良一先生還暦記念論文集『国際連合の研究』第 1 卷 (有斐閣、1962 年)
- 細谷雄一『『国際連合』の起源』法学研究 78 卷 8 号 (2005 年)
- 細谷雄一『『ユナイテッド・ネーションズ』への道(1)(2・完)』法学研究 83 卷 4 号、5 号 (2010 年)
- 細谷雄一「国連構想と地域主義 (1) (2・完)」法学研究 83 卷 9 号、10 号 (2010 年)
- 細谷雄一「モスクワ四国宣言と英米関係」法学研究 83 卷 12 号 (2010 年)
- 細谷雄一「国際連合創設への設計図」法学研究 84 卷 1 号 (2011 年)
- 瀬岡直『国際連合における拒否権の意義と限界』(信山社、2012 年)